

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年10月13日更新

事務事業名		合志市障害者就労支援事業			<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	健康福祉部	課長名 大高 和弘
	施策	16	高齢者・障がい者の自立促進と社会参加		所属課	福祉課	担当者名 澤田 哲郎
	基本事業	51	障がい者への在宅福祉サービスの充実と社会参加の促進		所属班	障がい福祉班	(内線) 2133
予算科目		会計一般	款 3	項 1	目 3	事業連番 11533	法令根拠
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input checked="" type="checkbox"/> 22年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 22 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度)	

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	障がい者の就労支援及び雇用施設等の運営支援のための方策を検討し、支援制度を策定するために設置した委員会にて、支援事業所を選定し、補助金の交付を行ない、障がい者の就労を支援する事業。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	・事業実施要綱及び募集要項の策定 ・委員会開催と事業の説明及び事業の確定 ・事業の公募 ・策定委員会による選定 ・希望事業所の選定(プレゼン方式) ・補助金申請受付 ・補助金交付決定 ・補助金確定 ・事業の検証 22年度は、事業実施要綱及び募集要項の策定、委員会開催と事業の説明及び事業の確定までを実施予定。
【主な予算費目】	費用弁償
【意見や要望】	特になし
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:新規
①手段(主な活動)22年度実績(22年度に行った主な活動)(DO)	23年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
障がい者の就労支援及び雇用施設等の運営支援のための方策を検討し、支援制度を策定するために障害者就労・運営支援制度策定委員会を設置し、市独自の支援策についての検討を行った。	策定委員会で決定された事業実施要綱、募集要領に基づき補助金交付団体等の募集、選定、補助金の交付を行う。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア 委員会の開催数	回 支援事業者の選定、補助金交付に伴う事業費の増。
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
就労支援事業所等に選定されることを希望する事業所等。	→ ア 就労支援希望事業所数 件
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
就労支援事業所になってもらう。	→ ア 就労支援選定事業所 件
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠	
就労支援事業所での雇用を希望する障がい者が、就労支援事業所に就労できる。	

(2)各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込	総トータルコスト 全体計画 ～ 年度 (期間限定複数年度のみ記載) 0
①活動指標	ア 回	0	0	2	2	2	2	2		
②対象指標	ア 件	0	0	0	0	5	5	5		
③成果指標	ア 件	0	0	0	0	2	2	2		
投資入費量	財源内訳	千円								
	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	繰入金	千円				55	1,088	1,088	1,088	
	一般財源	千円								
	(A)事業費計	千円	0	0	0	55	1,088	1,088	1,088	
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	正規職員従事人数	人	0	0	0	3	3	3	3	
	延べ業務時間	時間	0	0	0	502	502	502	502	
	(B)人件費計	千円	0	0	0	2,068	2,068	2,068	2,068	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	0	2,123	3,156	3,156	3,156	

事務事業名	合志市障害者就労支援事業	所属部	健康福祉部	所属課	福祉課
-------	--------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は22年度の後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した 次年度からの募集となるため、現段階での評価は不明。 本年度において、障害者就労・運営支援制度策定委員会を2回開催し、次年度から実施要綱案を策定した。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 障害者就労・運営支援制度策定委員会において、次年度実施に向けた補助金の申請マニュアルや選定方法と共に団体募集に係る市民への周知方法を策定した。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 次年度からの募集となるため、現段階での評価は不明。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他の方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 マニフェスト関連の単独事業であるため、類似事業なし。	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 次年度からの募集となるため、現段階での評価は不明。	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 次年度からの募集となるため、現段階での評価は不明。	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 実施要綱において、市内の障害者を対象とする事業であるため。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 既存の行政支援がない分野に対して、独自に支援を行う団体に対する補助であるため、役割分担は適正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

策定委員会で決定された事業実施要綱、募集要領に基づき平成23年度において補助金交付団体等の募集、選定、補助金の交付を行う。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案) ・ ・ ・ 複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上			○																		
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						